

セーナー苑の歩み

- 昭和40年 5月 知的障害者(児)の親たちが中心となり施設創設基金づくり始まる
10月 社会福祉法人設立申請
- 昭和41年 2月 大沢野町坂本地内に敷地約15万㎡買収
3月 起工式
9月 社会福祉法人設立認可
9月 更生施設(定員55名)開設。「セーナー苑」と命名
- 昭和42年 2月 更生施設(定員15名)増設
- 昭和43年 3月 国庫補助等による更生施設(定員60名)増設
5月 日本自転車振興会補助等で児童施設(定員50名)開設
- 昭和44年 3月 お年玉付き年賀郵便葉書寄附金配分金等で児童施設(定員30名)増設
10月 診療所開設
10月 国庫補助等で授産施設(定員50名)開設
- 昭和47年 10月 心身障害者コロニーセーナー苑募金運動推進協議会発足(目標5億円)
- 昭和48年 5月 国庫補助等で更生施設重度棟(定員40名)及び児童施設重度棟(定員40名)増設
- 昭和51年 3月 日本自転車振興会補助等による更生施設女子重度棟(定員50名)改築及び訓練等竣工
6月 授産施設定員を80名(30名増)に、児童施設定員を90名(30名減)に変更
- 昭和53年 4月 更生施設定員を200名(30名増)に、児童施設定員を60名(30名減)に変更
- 昭和55年 3月 日本自転車振興会補助等による更生施設男子重度棟(定員20名)竣工
- 昭和57年 4月 日本自転車振興会補助等による更生施設女子重度棟(定員20名)竣工
- 平成 2年 10月 知的障害者地域生活援助事業・グループホーム(男子定員4名)開所
- 平成 3年 10月 心身障害児(者)地域療育拠点事業業務委託
- 平成 6年 5月 セーナー苑整備推進委員会設置
- 平成 8年 1月 セーナー苑建設募金委員会発足(目標3億円)
3月 国庫補助等による授産施設「はるかぜの丘」(定員80名)改築完了
- 平成 9年 3月 日本財団等による更生施設「ほほえみの丘」(定員80名)改築完了
3月 更生施設「更生寮」定員160名(80名減)に変更
- 平成10年 6月 児童施設児童寮(定員60名)廃止
6月 国庫補助等による身体障害者療護施設「わかくさの丘」(定員60名)開設
6月 国庫補助等による身体障害者「デイサービスセンターわかくさの丘」(定員8名)開設
- 平成11年 3月 日本財団等による更生施設「やまびこの丘」(定員100名)改築完了
3月 更生施設「更生寮」定員60名(100名減)に変更
- 平成12年 3月 国庫補助等による更生施設「のぞみの丘」(定員60名)改築及び大規模修繕完了
- 平成13年 3月 日本自転車振興会補助等によるグループホーム「船嶺の家」(定員8名)2棟完成
- 平成15年 1月 障害者就業・生活支援センター設置
- 平成16年 4月 知的障害者通所更生施設「萌黄」(定員20名)開設
- 平成18年 10月 短期入所及びグループホームが障害者自立支援法による福祉サービスの新体系に移行
10月 障害者相談支援事業指定
- 平成19年 3月 富山県及び苑育成会の助成による「上二杉の家」(定員8名)開設
- 平成19年 4月 「生活介護事業所わかくさの丘」(定員10名)開設
4月 「セーナー苑就労移行支援事業所」(定員20名)開設
- 平成20年 3月 富山県及び富山市の助成による「長附の家」(定員6名)開設
- 平成21年 3月 富山県及び富山市の助成による「桜ヶ丘の家」(定員5名)開設
- 平成22年 3月 富山県及び富山市の助成による「野田の家」(定員7名)開設
- 平成22年 4月 障害者自立支援法による新サービス体系に全面移行
4月 やまびこの丘(定員100名)をやまびこの丘(定員50名)、こだまの丘(定員50名)に分割
- 平成23年 4月 富山県の助成による「サルビアの家」(定員5名)開設
- 平成24年 4月 居宅を対象としたサービスを統合し、「地域生活サービス部」の設置
4月 セーナー苑相談支援事業所Weネット開設
- 平成25年 1月 富山市基幹相談支援事業の受託
- 平成27年 4月 就労支援事業所あおぞらに就労継続支援(B型)サービス追加
セーナー苑の歩み資料展示館開館